

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター

1. 事業名称 神戸生活日本語普及推進事業

2. 事業の目的

2011 年度に神戸市の委託事業「短期日本語習得サポート事業」で独自の教材を作り上げ、無料でダウンロードできる体制を整えた。2012 年度は、生活日本語の考え方を普及し、指導者養成を行い、教室を開催して、学習できる資源を開発し環境を整える。

3. 事業内容の概要

「日本でできる行動・活動を増やす。そのために日本語を学習する。」というコンセプトで、生活で使うことばが学習できる教室を開催する。教室では、学習を導く日本語講師と地域の市民ボランティアが協力して行う形式をとる。生活日本語の教室を作り上げられる日本語指導者の養成を行い、協力者の市民ボランティアも研修を行う。教室で使うテキストも合わせて作成する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開催日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成 24 年 8 月 29 日	2 時間	当センター 事務所	松田高明 石光潤子 玉田秀之 金宣吉 奥優伽子	事業の概 要 今年度の 取組につ いて	日本語ボランティアの負担過剰と文 型積み上げ型からタスク達成型へ の教育内容の変換から今年度の取 組を考える
2	平成 25 年 2 月 6 日	2 時間	当センター 事務所	松田高明 石井真未枝 (石光氏代理) 玉田秀之 金宣吉 松本茜 (報告者) 奥優伽子	今年度の 取組実績 と反省	2012 年度の 1 月までの結果報告 来年度に向けての取組をどうするか

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

- (1) 講座名称 生活日本語クラス
- (2) 目的・目標 神戸市内外で生活日本語を学習する機会を提供し、外国人住民が安心安全に暮らせるようにする。専門の日本語講師と市民ボランティアが携わることにより、効率的な学習効果と社会での人間関係の構築ができるようにもする。
- (3) 対象者 日本語学習初心者及び生活に必要な日本語学習希望者
- (4) 開催時間数(回数) 202 時間 (全 101 回)
- (5) 使用した教材・リソース
- (6) 受講者の総数 36 人
(出身・国籍別内訳 ベトナム 23 人、中国 2 人、タンザニア 1 人、ペルー… 1 人、 ロシア人 1 人、ウクライナ人 1 人、パキスタン人 2 人、アメリカ人 2 人、フランス人 1 人、アルジェリア人 1 人、タイ人 1 人)
- (7) 受講者の募集方法
神戸市広報、近郊のエスニックコミュニティへのチラシ配布、日本語学習ボランティア団体へのチラシ配布、メールニュース、会員へのチラシ配布など。
- (8) 日本語教室の具体的内容

回数	開催日時	時間数	参加人数	国籍 (人数)	取組のテーマ	授業概要
1	6月25日 (月)	2時間	6人	ベトナム (5人) ペルー	目的地へ行く・家へ帰る	目的地までの交通手段等の必要情報を読み取る。おもに路線図や料金表、ホームや時刻などの情報を読み取る。
2	7月2日 (月)	2時間	7人	ベトナム (6人) ペルー	目的地へ行く・家へ帰る	前回の復習をして、最寄駅から目的地までの道を尋ねる。道案内を聞き取れるか練習する。
3	7月9日 (月)	2時間	8人	ベトナム(8人)	電話をする・待ち合わせ	電話をして友人や知り合いを食事や映画に誘う言い方を学習する。また誘いを断ったり、アポを変更したりするフレーズを学習する。
4	7月23日 (月)	2時間	7人	ベトナム (7人)	宅配便を利用する	宅配便を利用して、日本にいる知人に荷物を送る。または国際便を利用して、国にいる家族に日本のお土産を送る。送り状を書く。

5	8月6日 (月)	2時間	6人	ベトナム(6人)	事故・犯罪	事故や犯罪に巻き込まれた時に助けを求める。また、必要な場合に110番に電話をして状況を正確に伝える。
6	8月20日 (月)	2時間	6人	ベトナム(6人)	事故・犯罪	家族がたおれた場合を想定して、救急車を呼んで状況を伝える練習をする。
7	8月27日 (月)	2時間	6人	ベトナム(6人)	災害・防災	災害や防災などの場合にテレビ等で必要な情報を読みとる。また、地域にある避難場所や救援物資の情報などを自分で得る。
8	9月3日 (月)	2時間	7人	ベトナム(7人)	災害・防災	阪神大震災の時の話を支援者にしてもらいながら、万が一の時に備えた方がいいものを話し合う。防災カードを書く。
9	9月10日 (月)	2時間	4人	ベトナム(4人)	病院	病院で自分の症状を伝え、医師からの説明を聞き取る練習をする。
10	9月24日 (月)	2時間	2人	ベトナム(2人)	病院	問診票を書く。言葉の意味などを確認する。
11	10月1日 (月)	2時間	5人	ベトナム(5人)	病院	病院で受ける検査の種類や、検査時に看護師などから言われる指示を聞き取る練習をする。
12	10月15日 (月)	2時間	8人	ベトナム(8人)	ごみ	神戸市のルールに沿ってごみを分別すること、大型ごみを捨てる際の電話のやりとりなどを学習する
13	10月22日 (月)	2時間	12人	ベトナム(12人)	ごみ	いつ捨てたらよいかわからないごみを近所の人に聞く。また、神戸市から配布されているごみ分別の冊子を読む。
14	10月29日 (月)	2時間	9人	ベトナム(9人)	友人の家へ遊びに行く	友人や支援者の人の家に遊びに行く。自宅へ遊びに行った時のマナーや婉曲的な断り方や帰宅時の挨拶など。
15	11月5日 (月)	2時間	10人	ベトナム(10人)	友人の家へ遊びに行く	友人を自分の家に招待する時の言い方や、持ち寄りパーティなどに何を持って行くかなど、日本文化や習慣を知る。
16	11月12日 (月)	2時間	10人	ベトナム(10人)	プレゼントを買う	プレゼントを選ぶ際に必要な語彙を覚える。(色や柄、体格、予算などの語彙)
17	11月19日 (月)	2時間	10人	ベトナム(10人)	プレゼントを買う	予算や相手の嗜好を店員に伝えてプレゼント選びのアドバイスをもらう会話を練習する。
18	11月26日 (月)	2時間	9人	ベトナム(9人)	年賀状を書く	年末年始の挨拶を知る。普段一緒に学習している支援者と年賀状を出し合う。
19	12月3日 (月)	2時間	8人	ベトナム(8人)	クーポンなどを利用する	コース料理や飲み放題などのプランをお得に利用できる情報誌を使って、情報を読み取る。

20	12月10日(月)	2時間	5人	ベトナム(5人)	レストランを予約する	レストランを電話で予約する。日時、コース料理など予約時に必要な会話を練習する。
21	12月17日(月)	2時間	8人	ベトナム(8人)	レストランで食事をする	予約したレストランで食事をする。料理の注文方法や、お皿を換えてほしい等のフレーズを練習する。
22	1月7日(月)	2時間	6人	ベトナム(6人)	休暇中のことを話す	年末年始をどのように過ごしたか、一番印象に残っていることなどをペアで話した後、全体で発表する
23	1月21日(月)	2時間	10人	ベトナム(10人)	日本のお正月について知る	日本のお正月(食べ物や初詣など)について知る。自分の知らないことを聞く。
24	1月28日(月)	2時間	9人	ベトナム(9人)	自分の国について話す	日本のお正月と自分の国のお正月を比べてみてどうか。自分の意見をまとめてスピーチ形式で話す。
25	2月4日(月)	2時間	8人	ベトナム(8人)	旅行の計画を立てる	一番安い交通機関を調べたり、新幹線の切符を買う・ホテルの予約をする練習をする。
26	2月18日(月)	2時間	5人	ベトナム(5人)	おすすめの観光地を聞く	神戸市内にあるおすすめの観光場所を各自で決めて、他の人に紹介する
27	2月25日(月)	2時間	6人	ベトナム(6人)	施設を利用する	施設の開館時間や料金など必要な情報を読み取る練習をする。
28	3月4日(月)	2時間	7人	ベトナム(7人)	自分のできることを話す	自分が得意なこと、不得意なことをお互いに話し合う。自分の考えや気持ちなどをある程度まとめた日本語で話す。
29	3月11日(月)	2時間	7人	ベトナム(7人)	部屋を借りる	自分が希望する場所や家賃などでマンションやアパートを探す(不動産屋で聞く語彙や家の間取りを見る)
30	3月18日(月)	2時間	6人	ベトナム(6人)	引っ越しをする	新しく引っ越した家で水道・ガス・電気などの利用を開始する手続きを練習する
31	7月1日(日)	2時間	7人	ベトナム(6人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ(みんなの日本語 L1 語彙・練習 A) 中級グループ(買い物…スーパーで買い物をする)
32	7月8日(日)	2時間	8人	ベトナム(7人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ(みんなの日本語 L1 練習 A 復習・練習 B) 中級グループ(買い物…服を買う)
33	7月15日(日)	2時間	4人	ベトナム(4人)	生活日本語・文型文法	初級グループ(みんなの日本語 L1 練習 C・例文・会話) 中級グループ(買い物…ドラッグストアで薬を買う)
34	7月22日	2時間	7人	ベトナム(6人)	生活日本	初級グループ(みんなの日本語 L2 語彙・練

	(日)			人)、タンザニア	語・文型文法	習 A) 中級グループ (目的地への往復…交通機関・時刻表など必要な情報を読み取る)
35	7月29日 (日)	2時間	7人	ベトナム(6人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L2 練習 A 復習・練習 B) 中級グループ (目的地への往復…道案内を聞き取る)
36	8月5日 (日)	2時間	4人	ベトナム(4人)	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L2 練習 C・例文・会話) 中級グループ (電話をする…電話をして友人を食事に誘う)
37	8月12日 (日)	2時間	4人	ベトナム(4人)	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L3 語彙・練習 A) 中級グループ (電話をする…約束の日を変更する・当日遅れる理由を電話で伝える)
38	8月19日 (日)	2時間	4人	ベトナム(4人)	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L3 練習 A 復習・練習 B) 中級グループ (銀行・郵便…銀行で出入金をする)
39	8月26日 (日)	2時間	7人	ベトナム(7人)	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L3 練習 C・例文・会話) 中級グループ (銀行・郵便…残暑見舞いを送る)
40	9月2日 (日)	2時間	8人	ベトナム(7人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L4 語彙・練習 A) 中級グループ (銀行・郵便…日本国内の友人に宅配便を送る)
41	9月9日 (日)	2時間	8人	ベトナム(7人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L4 練習 A 復習・練習 B) 中級グループ (銀行・郵便…自分の母国へ宅配便を送る)
42	9月16日 (日)	2時間	8人	ベトナム(7人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L4 練習 C・例文・会話) 中級グループ (事故・犯罪…事故に遭った時・見た時に 110 番に電話をする)
43	9月23日 (日)	2時間	7人	ベトナム(6人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L5 語彙・練習 A) 中級グループ (事故・犯罪…事件に遭った時に 110 番に電話をする)
44	10月7日 (日)	2時間	12人	ベトナム(11人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L5 練習 A 復習・練習 B) 中級グループ (事故・犯罪…119番に電話をして状況を伝えて救急車を呼ぶ)
45	10月14日 (日)	2時間	8人	ベトナム(7人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L5 練習 C・例文・会話) 中級グループ (事故・犯罪…119番に電話をして状況を伝えて消防車を呼ぶ)
46	10月21日 (日)	2時間	10人	ベトナム(9人)、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L6 語彙・練習 A) 中級グループ (事故・犯罪…事件に巻き込まれた時に助けを求める)
47	10月28日	2時間	5人	ベトナム(4人)	生活日本語	初級グループ (みんなの日本語 L6 練習 A 復

	日（日）			人）、タンザニア	語・文型文法	習・練習 B）中級グループ（災害・防災…テレビやラジオから必要な情報を聞き取る・読み取る）
48	11月4日（日）	2時間	8人	ベトナム（7人）、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L6 練習 C・例文・会話）中級グループ（災害・防災…避難場所を調べて、逃げる道を考える）
49	11月11日（日）	2時間	4人	ベトナム（4人）	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L7 語彙・練習 A）中級グループ（災害・防災…阪神大震災のことを知り、防災カードを書く）
50	11月18日（日）	2時間	7人	ベトナム（7人）	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L7 練習 A 復習・練習 B）中級グループ（病院…自分の症状にあった病院を探す）
51	11月25日（日）	2時間	9人	ベトナム（8人）、タンザニア	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L7 練習 C・例文・会話）中級グループ（病院…問診票を記入する）
52	12月2日（日）	2時間	6人	ベトナム（6人）	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L8 語彙・練習 A）中級グループ（病院…自分の症状を医師に伝え、医師からの指示を聞く）
53	12月9日（日）	2時間	9人	ベトナム（9人）	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L8 練習 A 復習・練習 B）中級グループ（病院…薬局で薬をもらう、薬の用法用量を確認する）
54	12月16日（日）	2時間	11人	ベトナム（11人）	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L8 練習 C・例文・会話）中級グループ（病院…精密検査を受ける）
55	12月23日（日）	2時間	6人	ベトナム（6人）	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L9 語彙・練習 A）中級グループ（ごみ…分別の種類を知る。いつ捨てるのかわからないごみを近所の人に聞く）
56	1月6日（日）	2時間	6人	ベトナム（6人）	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L9 練習 A 復習・練習 B）中級グループ（ごみ…大型ごみを捨てるために業者に電話をする）
57	1月13日（日）	2時間	8人	ベトナム（8人）	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L9 練習 C・例文・会話）中級グループ（友人の家へ遊びに行く…家に行く時間や手土産について話し合う）
58	1月20日（日）	2時間	9人	ベトナム（9人）	生活日本語・文型文法	初級グループ（みんなの日本語 L10 語彙・練習 A）中級グループ（友人の家へ遊びに行く…トイレを借りる・帰る時の挨拶などマナーやフレーズを練習する）
59	1月27日	2時間	6人	ベトナム（6人）	生活日本語	初級グループ（みんなの日本語 L10 練習 A 復

	(日)			人)	語・文型文法	習・練習 B) 中級グループ (プレゼントを 買う…服の語彙・柄・人の特徴をあらわす語 彙・予算・ラッピングなどプレゼントに関す る語彙を練習する)
60	2 月 3 日 (日)	2 時間	7 人	ベトナム(7 人)	生 活 日 本 語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L10 練習 C・ 例文・会話) 中級グループ (プレゼントを 買う…店員にアドバイスをもらいながらプレ ゼントを買う)
61	2 月 1 0 日 (日)	2 時間	6 人	ベトナム(6 人)	生 活 日 本 語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L11 語彙・練 習 A) 中級グループ (食事をする…クーポン の情報を読み取る)
62	2 月 1 7 日 (日)	2 時間	8 人	ベトナム(8 人)	生 活 日 本 語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L11 練習 A 復 習・練習 B) 中級グループ (食事をする…レ ストランを電話で予約する)
63	2 月 2 4 日 (日)	2 時間	6 人	ベトナム(6 人)	生 活 日 本 語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L11 練習 C・ 例文・会話) 中級グループ (食事をする…レ ストランで料理を注文する・皿を取り換えて ほしい等のフレーズを練習する)
64	3 月 3 日 (日)	2 時間	6 人	ベトナム(6 人)	生 活 日 本 語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L12 語彙・練 習 A) 中級グループ (神戸市内の観光施設を 利用する…開館時間や料金など必要な情報 を読み取る)
65	3 月 1 0 日 (日)	2 時間	7 人	ベトナム(7 人)	生 活 日 本 語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L12 練習 A 復 習・練習 B) 中級グループ (神戸市内の観光 施設を案内する)
66	3 月 1 7 日 (日)	2 時間	7 人	ベトナム(7 人)	生 活 日 本 語・文型文法	初級グループ (みんなの日本語 L12 練習 C・ 例文・会話) 中級グループ (日帰り旅行を計 画する)
67	6 月 2 7 日 (水)	2 時間	6 人	アメリカ、 タイ、ウク ライナ、フ ランス、ベ トナム、ア ルジェリア	慣用表現①	体の部位「顔・手・足」を用いておしゃべり をする。ディベート：学習者が提案したテー マ「汚染について」で意見交換をする。
68	7 月 4 日 (水)	2 時間	6 人	アメリカ、 タイ、ウク ライナ、フ ランス、ベ トナム、ア ルジェリア	慣用表現②	「気」を用いた慣用表現を用いておしゃべり をする。 ディベート：学習者が提案したテーマ「子育てについて」で意見を交換する。

69	7月11日 (水)	2時間	6人	アメリカ2人、ウクライナ、フランス、ベトナム、アルジェリア	学校・教育①	日本の学校制度や学校で必要なもの、年間行事等についての知識を深める。
70	7月18日 (水)	2時間	3人	アメリカ、ウクライナ、フランス	学校・教育②	学校通信を読む。日本の教育方針について意見を交換する。
71	7月25日 (水)	2時間	7人	アメリカ2人、タイ、ウクライナ、フランス、ベトナム、アルジェリア	生活日本語の復習	『なでしこジャパニーズ』全12課の復習
72	8月1日 (水)	2時間	5人	アメリカ2人、タイ、ウクライナ、ベトナム、アルジェリア	自己紹介	改まった場面で丁寧な言葉を使って自己紹介をする。
73	8月8日 (水)	2時間	7人	アメリカ2人、タイ、ウクライナ、フランス、ベトナム、アルジェリア	尋ねる	相手に丁寧に聞き返す。耳にした言葉についてどんな意味かを聞く。電話で聞き取れなかった場合に聞き返す。
74	8月22日 (水)	2時間	6人	アメリカ2人、ウクライナ、フランス、ベトナム、アルジェリア	トラブル	勧誘を断る。近所トラブル(上や隣の住人がうるさくする、ペットが家の敷地内に入ってくる)に対応する。
75	8月29日 (水)	2時間	5人	アメリカ、ウクライナ、フランス、ベトナム、アルジ	会話上手になる	TP0にあったあいづちを打つ。慣用表現を使って会話を膨らませる。

				エリア		
76	9月5日 (水)	2時間	4人	アメリカ2人、ベトナム、アルジェリア	おすすめを聞く／言う	レストランでおすすめを聞く。おすすめを聞かれた人におすすめを教える。
77	9月12日 (水)	2時間	4人	アメリカ、タイ、ベトナム、アルジェリア	レストランへ行く①	レストランへ行って座席(禁煙・喫煙)を選び、おすすめを聞いて注文をする。間違ったものが来た時に対応する。
78	9月19日 (水)	2時間	7人	アメリカ2人、タイ、ウクライナ、フランス、ベトナム、アルジェリア	レストランへ行く②	前回の復習。会計をする(クレジットやクーポン、ポイントカードを利用する)。割り勘をする。
79	9月26日 (水)	2時間	2人	タイ、ウクライナ	美容院を利用する	電話で日時や希望のメニュー、指名等を伝える。当日、希望するヘアスタイルを具体的に伝える。
80	10月3日 (水)	2時間	5人	ウクライナ、ベトナム、アルジェリア、パキスタン2人	正確に伝える	5W1Hを用いて言いたいことを正確にわかりやすく伝える。
81	10月10日 (水)	2時間	4人	ベトナム、アルジェリア、パキスタン2人	電話をする・待ち合わせ①	電話の基本的なかけ方について知る(「もしもし」や「失礼します」等の挨拶)。「～ませんか」を使って、誘い、日時や会う場所を決める。
82	10月17日 (水)	2時間	6人	ウクライナ、ロシア、ベトナム、アルジェリア、パキスタン2人	電話をする・待ち合わせ②	前回の復習。誘われた時に相手の気持ちを害さないように断る。約束の時間に遅れる場合、電話で連絡する。
83	10月24日 (水)	2時間	4人	ウクライナ、ロシア、ベトナム、アルジェリア	事故・犯罪①	事件・事故にどのようなものがあるか、警察を呼ぶ場合は110番、救急車を呼ぶ場合は119番であることを理解する。家族が救急車を必要とした場合の電話でのやり取りを練習する。

84	10月31日（水）	2時間	4人	ウクライナ、ロシア、パキスタン 2人	事故・犯罪②	前回の復習。自分の身を守る言葉を練習する。
85	11月7日（水）	2時間	4人	ロシア、ベトナム、パキスタン 2人	災害・防災①	台風・地震が起きた場合、何が起きるか、何で情報を得るか、どこへ逃げるかについて話し合う。家の近くや、日本語教室の近くの避難場所を確認する。
86	11月14日（水）	2時間	5人	ウクライナ、ロシア、ベトナム、パキスタン 2人	災害・防災②	避難するときに持って逃げるものについて話し合い、確認する。神戸市発行の防災カードに必要事項を記入する。
87	11月21日（水）	2時間	5人	ウクライナ、ロシア、フィリピン、パキスタン 2人	ごみ・近所関係①	ごみの種類（燃える/燃えない、缶・ビン、プラスチック、資源等）を知る。神戸市のゴミの分別方法を知り、ごみを分別してみる。
88	11月28日（水）	2時間	6人	ウクライナ、ロシア、ベトナム、フィリピン、パキスタン 2人	ごみ・近所関係②	前回の復習。引越しをした際の近所への挨拶の練習。回覧板を回す。
89	12月5日（水）	2時間	5人	ウクライナ、ロシア、ベトナム、パキスタン 2人	お金を出す・入れる／手紙を送る	郵便局・銀行・コンビニで受けられるサービスについて知る。ATMの使い方を知る。手紙を普通・速達で送る。
90	12月12日（水）	2時間	5人	ウクライナ、ロシア、ベトナム、パキスタン 2人	荷物を送る	送り状を書いて国内・外に荷物を送る。
91	12月19日（水）	2時間	4人	ロシア、ベトナム、パキスタン 2人	日本の年末年始・年賀状	日本の年末年始の挨拶を覚え練習する。干支（12支）の由来について知り、年賀状を書く。
92	1月9日（水）	2時間	3人	ベトナム、パキスタン	お正月について	年末年始をどのように過ごしたかについて話す。お正月の遊び（すごろく、福笑い）をす

				2人		る。
93	1月16日 (水)	2時間	3人	ロシア、ベトナム、パキスタン	学校に電話する	インフルエンザについての知識を深める。学校へ電話をする際の注意点を確認する。
94	1月23日 (水)	2時間	3人	ロシア、パキスタン2人	学校に電話する	子どもが学校に遅刻・欠席する場合、電話でその旨を伝える。担任の先生へ直接伝える場合と、伝言を頼む場合の会話練習。
95	1月30日 (水)	2時間	4人	中国、ロシア、パキスタン2人	病院へ行く①	体の部位・内蔵の語彙を知る。医者に症状を伝える。
96	2月6日 (水)	2時間	4人	中国、ベトナム、パキスタン2人	病院へ行く②	体の部位・内蔵の語彙・症状を伝える復習。病院の各科について知識を深める、問診票を書く。
97	2月13日 (水)	2時間	4人	中国、ロシア、パキスタン2人	病院へ行く③	初診から受診までの流れを理解し、医者に症状を伝え、医者の指示に正しく反応する。
98	2月20日 (水)	2時間	4人	中国、ロシア、パキスタン、フィリピン	病院へ行く④	受診、支払いを済ませ薬局へ行って薬を受け取る。薬袋から正しい薬の飲み方を読み取る。
99	2月27日 (水)	2時間	4人	中国、フィリピン、ロシア、パキスタン、	買い物①	物の名前や売り場の名前を理解する。買いたいものがどこにあるかを聞く。服の試着を申し出て試着、購入または断る。
100	3月6日 (水)	2時間	4人	中国、ベトナム、パキスタン2人	買い物②	チラシを見てお得な情報を得る。買ったものの不備が見つかり、返品・交換をする。
101	3月13日 (水)	2時間	4人	中国2人、ロシア、フィリピン	目的地へ行く・家へ帰る	最寄りの駅やバス停から自分の家まで道案内をする。

写真



(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

(8月27日) 学習者6名(ベトナム人6名) (「なでしこジャパニーズ9課」)

夏から秋にかけて台風が来ることが多いことをウォーミングアップで話し、ベトナムではスコールが降ることなどお互いの国でどんな災害があるか話し合った。また阪神大震災のことを話し合い、その時日本にいたのか、ベトナムでニュースを見たのかなど話し合った。実際に被災された支援者に当時のことを話してもらった。また、写真集を持っている支援者がいたので学習者に見てもらった。

もし、また神戸に同じ規模の地震が来たらどこへ逃げるか、何を持って逃げるかなどをグループで考えてもらった。その後、防災カードを記入して万が一の時にも冷静に対応できるようにベトナム語訳の入ったカードを一人ずつに渡した。

(2月27日) 学習者4名(中国、フィリピン、ロシア、パキスタン) (「なでしこジャパニーズ2・3課」)

デパートに服を買いに行くという設定にして、最初に階の言い方などを確認した。地下1階という言い方はわからない学習者もいた。普段服をどのように買っているか学習者に聞いてみると、目で見れば色やサイズもわかるので特に店員と会話はしないという学習者がほとんどだった。「赤いTシャツが欲しいです。でもお店にありません、どうしますか」と聞くと「帰ります」という学習者がいた。店員に在庫があるか確認することはないようだった。そこで色の導入をして学習者の好きな色を聞いてから「赤はありますか」というフレーズを導入した。

また、スカートやジーパンのように一度試着して買ったほうがいいものを例に挙げて「試着してもいいですか」というフレーズが出るか確認したが、学習者からは出なかった。支援者に確認すると「試着していいですか」「来てみていいですか」などのフレーズが出た。女性の学習者は楽しんでしたが、男性の学習者はあまり服を買うときに会話はしないと言った感じだったので、ニーズが分かれた内容だと思った。

(10) 目標の達成状況・成果

支援者に対して: ボランティア活動として日本語支援を始める人が「生活日本語」のクラスに参加することによって、文型積み上げ型ではない日本語学習の方法が普及できた。神戸市シルバーカレッジの国際友の会グループからは「生活日本語」についての講習の要請があり3回行った。既存のボランティア支援者は初めの頃、何を学習しているかわかりにくいという意見が出たが、年度の終わりのボランティアミーティングでは、文型も必要だが「生活日本語」の学習も必要であり来年度からもやるべきだという結論が得られた。

学習者に対して: (別紙添付 松本茜 修士論文より)

(11) 改善点について

「生活日本語」を学習する際には、ある程度の日本語の基礎能力がないといけないのではないかという指摘を講師・支援者から受けた。また細かい文法ではなくても、応用が利く程度の文型の説明も入れた方がいいという意見が出た。「生活日本語」が効果のある日本語能力のレベルを見極め、その人たちを講座の対象としてやっていく方法をとっていくべきである。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 生活日本語支援者・指導者養成講座

(2) 目的・目標 文化庁のカリキュラムに基づいた「生活者のための日本語」の学習内容や習得方法は、まだ一般に広がっていないため、教材に作り上げてクラス活動をリードできる指導者を養成し、同時に市民ボランティアが参加する際の心構えなどを学び、質の高いボランティアの養成も行う。

(3) 対象者

支援者: 日本語ボランティアとして活動を希望する人

指導者: 日本語教育能力有資格者、日本語指導経験があり指導者の資質のある人

(4) 開催時間数(回数) 45.5 時間 (全 15 回)

(5) 使用した教材・リソース 生活日本語テキスト「なでしこジャパニーズ」 講師レジメ

(6) 受講者の総数 49 人

(出身・国籍別内訳 日本 49 人)

(7) 受講者の募集方法

神戸市広報、日本語学習ボランティア団体へのチラシ配布、当団体の HP、メールニュース、会員へのチラシ配布など。

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開催日時	時間数	参加数	国籍	取組のテーマ	授業概要
1	6 月 30 日 13:00～17:00	4 時間	10 人	日本 (10 人)	生活日本語テキスト「なでしこジャパニーズ」の使い方	当センターのボランティア支援者に対して 2011 年度に作成した「なでしこジャパニーズ」の構成や使い方を説明し、模擬授業も行う。
2	7 月 14 日 10:00～17:00	6 時間	10 人	日本 (10 人)	生活日本語テキスト「なでしこジャパニーズ」の使い方	外部向けに 2011 年度に作成した「なでしこジャパニーズ」の構成や使い方を説明し、模擬授業も行う。質疑応答。
3	10 月 13 日 13:30～16:30	3 時間	18 人	日本 (18 人)	教育ファシリテーターとは	グループに分かれ、ファシリテーターの役割とは何かを考える。知識取得と考察、話し合いをする
4	11 月 17 日 14:00～17:00	3 時間	10 人	日本 (10 人)	生活日本語ファシリテーター養成講座	「生活日本語」とは何かを講師側の説明も交えながら受講者でも話し合い考えを深めていく
5	11 月 24 日 12:00～17:00	3 時間	9 人	日本(9 人)	生活日本語ファシリテーター養成講座	生活日本語のテキストを作るための「生活日本語研究会」を行う
6	12 月 1 日 14:00～17:00	3 時間	10 人	日本 (10 人)	生活日本語ファシリテーター養成講座	当センター作成の「なでしこジャパニーズ」の紹介と FSG クラスの説明
7	12 月 8 日 14:00～17:00	3 時間	9 人	日本(9 人)	生活日本語ファシリテーター養成講座	実際に教えるための模擬授業を行う

	7:00				座	
8	12月15日 14:00～17:00	3時間	8人	日本(8人)	生活日本語ファシリテーター養成講座	当センターでの FSG スタイルの生活日本語の授業について説明
9	1月19日 14:00～16:30	2.5時間	25人	日本(25人)	日本語ボランティア講座	国語と日本語の違いと日本語を教える際の文法用語などの知識の習得
10	1月26日 14:00～16:30	2.5時間	22人	日本(22人)	日本語ボランティア講座	日本語ボランティアとして相手の語彙力を推し測ってこちら側の語彙コントロールの必要性などの理解
11	2月2日 14:00～16:30	2.5時間	22人	日本(22人)	日本語ボランティア講座	神戸市や兵庫県の在日外国人の人数やビザの特徴、入国経緯など。日本全国との比較。
12	2月9日 14:00～16:30	2.5時間	18人	日本(18人)	日本語ボランティア講座	学習者と支援者、コーディネーターの立場からの話。どのようなボランティアになりたいか考えてもらう
13	2月16日 14:00～16:30	2.5時間	19人	日本(19人)	日本語ボランティア講座	地域に住み、日本語教室に来る人の学習目的やボランティアの役割。生活日本語の必要性の理解促進。
14	2月23日 14:00～16:30	2.5時間	19人	日本(19人)	日本語ボランティア講座	「なでしこジャパニーズ」の使い方やその主旨の理解を深める
15	3月9日 13:30～16:00	2.5時間	10人	日本(10人)	KFC 生活日本語の効果と課題	講師の修士論文より当センターの生活日本語についての効果や課題点を洗い出す

写真 別紙



(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

(11月8日 教育ファシリテーターとは)

受講者 18 名は、4、5 名からなるグループを 4 つ作り、「ファシリテーターとは何か」を各グループ内で自由に討議をし、その結果を教室全体に発表し、それを講師がまとめてくださる活動でした。ファシリテーションは十年ほど前から注目が高まり、日本では比較的新しい考え方である。ファシリテーター

とは、グループの参加者一人ひとりの参加を促し、「場」の力を高めるよう、働きかける人を言う。ファシリテーターの活動は、一方向ではなく、グループ員の自主性を尊重して、対話をベースにした関わりである。ファシリテーターは先生ではない。学習者・支援者の双方にヒントを与える人である。ファシリテーターは、中立性を尊重し、グループの自主性をはぐむ雰囲気づくりをする人である。特に教育ファシリテーターとは、学習者の意欲と関心を引き出し、学習者の経験や知恵を生かして学びあう環境を作る人である。次は、「なぜ教育にファシリテーションなのか」講師のお話を聞きました。なぜ教育にファシリテーションなのかを考えるには、教育には二つのスタイルがあることに目を向ける。一つはタテ型、もう一つはヨコ型。どちらかが優れているわけではない。教育内容によってどちらが適しているかわかってくる。現代社会では、ヨコ型の学びの充実が求められているとのことだった。

(11月17日～12月15日 全5回)

受講者の方は日本語学校経験者や地域日本語教室経験者など現場で長く活動されている方々ばかりで、第1回目のグループワークでは文法積み上げの課題点など多くの意見が出ました。課題点を共有した後に、現在KFCに取り組んでいる「生活日本語」について説明をしました。

そして第2回目には、実際に受講者の方々にテキストを作成してもらうための前作業として「生活日本語研究会」を行いました。私達が日常生活における言動を振り返ることで、テキストにどんな語彙やフレーズを入れるべきか判断するため、毎回行っていたものです。細かく場面設定をした方が意見が出やすいテーマと、時系列に沿って意見を出した方がまとめやすいテーマがあり、受講者の方々はそれぞれグループごとにテーマを決めて意見を出し合い、テキスト作成へと作業を進めていました。生活日本語とテキスト作成に関する内容を終えて、第3回目はKFCで取り組んでいる新しいクラス形態「FSGクラス」について説明しました。「FSG」とは「F＝ファシリテーター S＝支援者 G＝学習者」の略で、講師やボランティアが一方向的に教えるのではなく、クラスの進行を担うファシリテーターと支援者が協力して学習者の日本語支援を行う新しいクラス形態です。実際に、新長田クラスの様子をビデオで見てもらいながら、ファシリテーターがクラスでどのような役割を担っているのか説明しました。

そして第4回目に各グループがそれぞれ作成したテキストを使用してFSGクラスを再現して実際に模擬授業を行いました。模擬授業を終えた受講者の方々からは「FとSの関係性がよくわからない」「Fはどこまでを担当するべきかわからない」という意見が多数出たため、第5回目に現在私達が授業で使用しているタイムスケジュールを配布して、どのように授業を進めているか具体例を挙げながら説明しました。

全5回を終えて受講者の方から次のようなご意見を頂きました。「文法を学習して自分の意思を伝えられるのが理想だが、タスク型というまた違った方法で日本語を学習することで体当たりで今持っている能力で事態の打開を図る勇気に繋がればと思った」「学習者が本当に望んでいること、必要なことをすぐに実現できるのが生活日本語だと思う」「文法ありきの教え方の脱却を目指すには、まず生活日本語クラスのように文法説明なしという極端なやり方でもいいと思った」「文法説明をしない、語彙コントロールをしない等、受講当初は適当で曖昧なイメージを持ったが、そこをあえて割り切った授業をすることで、学習者の選択が増えて本当にネイティブの日本人会話に触れられるいい機会だと思った」という意見がある一方で「ファシリテーターは先生よりも難しい」「ファシリテーターは準備にあまりにも時間がかかるため、ボランティアペースで長く続けるのは困難だ」「生活日本語としての場面設定や、そこで使用するフレーズは多岐に渡るため、モデル会話の設定が難しい」「教える—教わるという関係ではないと説明を受けたが、クラスでの支援側メンバーの配置を見ると、まだまだ教える側と教わる側という関係にあると思う」という意見もありました。

- (10) 目標の達成状況・成果 当初の予定では、ボランティアに対する講座と日本語教育の資格者に対する講座を別々として考えていた。実際にはボランティア支援者が生活日本語テキストの使用の仕方を教えてほしいという要望が多く講座を行った。生活日本語の考え方を普及できたことでは成果があった。文型積み上げ式だけが日本語の教え方ではないということを広めたことは成果である。
- (11) 改善点について 教室内で教科書を使って標準語や「ですます調」を学習していても、休憩時間や学習が終わった途端、関西弁での会話が始まる。自分たちの地域のことばを学習する機会がないことを支援者は理解しづらいようである。今後は支援者にこのことに気付かせるような取り組みが必要である。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称…「なでしこジャパニーズⅡ」
- (2) 対象…定住外国人、留学生、就労者、中国帰国者等
- (3) 目的・目標…日本語学校等に通うことが難しい配偶者や就労者等が、生活に必要な日本語を学ぶことによって安全安心に日本で生活ができるようになることが目的である。テキストで学習し、日常生活で今までできなかったこと・勇気が出なかったことが自分で行えるようになることが目標。
- (4) 構成…日常生活、日本在住者として必要な生活知識や語彙・フレーズ・マナーなどを場面ごとにまとめている。大きなテーマとして12課に分けて作成。
- (5) 使い方…文型積み上げ型テキストではないので、学習者の生活背景やニーズ等によって学習するテーマを選択することができる。興味のあるテーマを選択し、その場面で必要となる語彙やフレーズを学習する。またレアリアを実際に使用しながら、学習を進めていく。(例:第24課「求人情報を見て電話でアポを取る」実際の求人情報を見ながら必要な情報を読み取る作業を行う)テキストに記載している会話はあくまでモデル会話であり、日本語教室所在地の方言などを取り入れたりしてもよい。また、学習者の性別や年齢などによって、モデル会話を「友人言葉(普通体)」や「公的な表現方法(丁寧体)」にしてもよい。
- (6) 具体的な活用例…学習者のレベルによって使い方を分けることができる。ある程度日本語がわかる学習者に対しては、先に語彙やフレーズを導入せずに「この場面でどんなことを話すか」先に実践してもらう。その学習者の様子を見て、補足した方がいい語彙やフレーズを見極めて学習者に導入していく。また、支援者が複数いるようなクラスであれば支援者にも意見を聞き、実際に日本人がある場面でどんな語彙やフレーズを使って会話をしているのか聞いてもらうのもよい。一方、初級の学習者に対しては先にその場面で必要となる語彙やフレーズを導入し練習を行う。その後、場面設定を行い会話の練習をする。
- (7) 成果物の添付…生活日本語テキスト「なでしこジャパニーズⅡ」
(日本語版、英語版、中国語版、ベトナム語版)(L19とL23のビデオ教材)

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

2011 年度に神戸市の委託事業「短期日本語習得サポート事業」で独自の教材を作り上げ、無料でダウンロードできる体制を整えた。2012 年度は、生活日本語の考え方を普及し、指導者養成を行い、教室を開催して、学習できる資源を開発し環境を整える。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

一番の成果は生活日本語の考え方を普及できたことである。学習者には生活の日本語は教科書で取り上げられているとは限らないということ、支援者には文型積み上げ以外の教え方があることや実際の生活には教科書には書いてないフレーズなどが必要であること、生活日本語テキストを作成することに参加してもらうことによって、標準的で正しい日本語と生活の中での日本語の違いなどを理解してもらえた。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

初めは使い方がわかりにくかったが、文化庁の担当者の話や、自分たちがテキストを作る際に、カリキュラム案の意図することが理解できたと思う。生活者が何をひつようとしているかがまとめられていること、それを使ってどう教室内の活動や学習に結び付けていけばいいかに取り組むことができた。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

神戸市や兵庫県の国際協力交流部門の人にも当センターでの取り組みを理解してもらい、考え方を支援してもらえたので成果があった。日本語教育に携わっている人には当センターの昨年度の生活日本語テキスト「なでしこジャパニーズ」は衝撃だったようである。現場の支援者からの支持は得られている手ごたえを感じられる。

(5) 改善点、今後の課題について

生活日本語のみのクラスを 2011 年9月から行っているが、1年半の経験の後、文型も学習したほうが応用力がつくのではないかという意見が出ている。今後は頭を柔軟にした学習計画の方法を構築していく必要がある。学習方法は学習スタイルの違いによって学習者ひとりひとりに合わせなければならない。ボランティアでは限界があることも今までと同じく大きな課題である。

(6) その他参考資料 別紙添付(松本茜 修士論文より)